



平成28年4月12日 大阪市立淀川中学校保健室

定期健康診断シリーズ『眼科検診』

日時：4月13日(水) 午後から

☆検診を欠席した人は、4月20日に検診を受けます。

場所：LL教室①

校医の先生：

眼科検診をしてくださるのは、

白紙先生です。



検診時の注意：

- ◎眼鏡をかけている人は、自分の順番がきたらはずしてください。
- ◎コンタクトレンズをつけている人はそのままよいです。検診の順番が来たら、先生に伝えてください。
ただし、(学校で認められていないカラーコンタクトレンズは当然ですが、ディファインなどの環状色つきコンタクトレンズなどの) 色のついたコンタクトレンズをつけていると検診ができません。外しておいてください。
- ◎廊下や教室で順番を待っている間、隣の人と私語をしないこと。
- ◎検診の順番が来たら、挨拶し、自分の名前を言ってから椅子に座ります。
質問には、はっきりと礼儀正しく答えましょう。

眼科検診って、

いったい何を調べているの？

眼科検診では、目のまわりやまつ毛、まぶた、結膜、角膜などに、病気の疑いがないかを調べます。

検診の結果、何か異常があった人にはお知らせを渡します。もらった人は、早めに病院で診察を受けましょう。

また、診察だけではわかりにくいこともあるので、「目やにがよくでる」「まぶしい」「異物感がある」「かゆい」などの自覚症状がある人は、検診の時に先生に伝えてください。

注意したい目の病気

麦粒腫

※ものもらい

まつげの根もとにばい菌が入って、はれたり赤くなったりする病気。病院で診てもらい、薬を使って症状が治まるのを待ちます。それ以上、病気が悪くならないように、こまめに手や指を洗って、清潔にすることが大切です。「ものもらい」は霰粒腫という病気の場合もあります。

結膜炎

結膜(まぶたの裏)にばい菌が入って、目が痛くなったり、真っ赤になったりする病気。手で目をこすらず、また、よく手を洗うことが大切です。

流行性角結膜炎

※はやり目

ウイルスが原因でまぶたがはれて、目が真っ赤になったり、目の中がゴロゴロする感じがしたりする病気。まぶたの裏にブツブツがでたり、涙や目やにが多く出たりすることもあります。うつりやすい病気なので、お医者さんの許可がでるまで登校することはできません。

ドライアイ

ドライアイは、涙の量が少なくなったり質が悪くなったりして、目がかわいて傷つきやすくなる病気です。細菌やウイルスなどにも感染しやすくなります。ドライアイを防ぐには、テレビやゲーム機の画面を長時間見続けない、まばたきを多くする、目薬をさすなど、目にやさしい生活をするのが大切です。